

発表

INTERNET magazine 2004 best product award

インターネットマガジン2004 ベストプロダクトアワード

INTERNET magazine
INTERNET magazine
2004 Best Product Award

この1年で最も輝いていたプロダクト&サービスはこれだ!



アワードカテゴリー一覧

- ・ネットビジネス95 ページ
- ・ウェブクリエイション.....96 ページ
- ・セキュリティ97 ページ
- ・ネットワークデバイス98 ページ
- ・ネットワークソフトウェア99 ページ
- ・オンラインサービス100 ページ
- ・ブログ関連101 ページ
- ・特別部門101 ページ

インターネットに関係のあるプロダクトやサービスは、毎年数限りなく発表されており、登場直後から大人気を博すものもあれば、人知れず消えていったサービスもある。中には、今は評価されていないでも後の世には歴史を変えたと言われる技術があるかもしれない。

インターネットマガジン編集部では、2003年下期から2004年10月現在までにリリースされたプロダクトやサービスの中から、特に革新的で、インターネットの発展とさらなる普及に貢献したと認められるものを選出して表彰する「ベストプロダクトアワード」を発表することにした。

photo : Tsushima Takao



ネットビジネス部門 グーグル AdSense

グーグル株式会社

URL <https://www.google.com/adsense/?hl=ja>

ネットビジネス部門はインターネット上でのビジネスを支援するツールやサービスを対象としたものだ。今回は企業だけでなく一般ユーザーにも大きな衝撃を与えたグーグル AdSense(アドセンス)を選出した。AdSenseは、リスティング広告を検索結果ページだけでなく、一般のページにも表示できるようにしたもので、一般ユーザーでも低コストで広告を出したり、気軽に広告を引き受けたりできるようにしたことで、ウェブビジネスの流れを加速した。

AdSenseは2003年6月に米国で、日本では2003年12月から提供が始まった。当初は大手のニュースサイトなど企業サイトのみを対象とするサービスだったが、すぐに一般のサイトにも対象を拡大。それまでリスティング広告は、検索サイトの検索結果ページにしか表示されなかったが、AdSenseはグーグルアドワーズ広告を一般のウェブサイトにも表示できるようにした。

一般的にリスティング広告は、広告主が指定したキーワードと検索ワードが一致した場合にのみ検索結果に広告が表示される。しかし、AdSenseは一般のウェブページに広告を表示するため、広告枠が設置されたページの内容をグーグルの検索エンジンアルゴリズムによって解析する。そしてページの内容と広告主が指定したキーワードの関連性が高い場合にのみ、アドワーズ広告を表示する。それまでのバナー広告とは異なり、AdSenseは動的にページの内容を解析して最もマッチした広告を表示する点が画期的だった。このため、広告を出す側にとっては掲出先の選定が、掲載する側には広告の選択が不要になり、手間がかからず効果の高い広告システムとして、急速に普及している。

リスティング広告をあらゆるウェブページに表示できるようにし、だれでも安価に広告を出せて、幅広い掲出先を作った



レポート画面は、表示回数やクリック回数すべて表示され、現在の自分のウェブサイトにくら支払われるかもリアルタイムでわかる。ページに合った広告がない場合に任意の広告を表示する「代替広告」の仕組みを最初から用意しており、他社のアフィリエイトプログラムと組み合わせることもできる。

レポート画面はサンプル

ビッグバナー (728 x 90) - 掲載位置のサンプルを表示

テキスト - ページに広告を 4 つまで表示

イメージ - 1 ページにつき 1 つの広告を表示

バナー (468 x 60) - 掲載位置のサンプルを表示

テキスト - ページに広告を 2 つまで表示

イメージ - 1 ページにつき 1 つの広告を表示

AdSenseで表示されるテキストバナーのサンプル。大きさや形状、配色は画像以外にもさまざま。専用のプレビューツールを使えば、実際の掲載ページを見ながらデザインや表示させる広告を決められる。ページに追加するHTMLタグも、画面の表示に従ってメニューを選ぶだけで自動的に生成される。

そのほかの候補に挙がったプロダクト&サービス

- ・リストップ
- ・オーバーチュア(YST)
- ・アマゾンウェブサービス
- ・Urchin
- ・WebMT
- ・サイトトラッカー
- ・ClickM@iler
- ・通販開業X



ウェブクリエイション部門 Movable Type 3.0

シックス・アパート株式会社

URL <http://www.sixapart.jp/>

これこそブログツールのスタンダード インストールするだけで高機能なブ ログサイトが構築できる

Movable Type 3.0日本語版の管理画面。現在では、インストール直後からすべての表示が日本語化されている。



「ウェブクリエイション」部門は、ウェブサイトの構築と製作をサポートするソフトウェア全般を対象としたもの。今回のアワードには、日本におけるブログブームの発端であり、インストール型ブログツールスタンダードと言われる「Movable Type 3.0」を選出した。インストール型、ASP型ともにブログツールは数多く存在しているが、ブログツールとして初めてトラックバック機能を搭載するなど、まさにブログの標準ツールと言える。

Movable Typeは2001年10月にベン・トロットとミナ・トロットの夫妻によって開発された、インストール型のブログツールだ。ブログの必須機能の1つと言われている「トラックバック」を考案し、最初に搭載したのがMovable Typeである。個人ユーザーが非商用で利用する場合に限り無料だったこともあり、現在ではもっとも人気の高いブログツールの1つとなっている。

Movable Typeがユーザーに支持されたのは、「HTMLを書く必要がない」「ブラウザから更新できる」「記事を自動的に管理できる」「ページのデザインが良い」「カスタマイズ性が高い」「個人利用は無料」「コメントやトラックバック機能がある」などの理由がある。これらの要素は、どれも現在ではブログの標準的な仕様となっており、多くのブログツールが倣ったことがブログブームの一因となったと言える。

リリースされたばかりのMovable Type 3.1では、PHPスクリプトによるページの動的な生成や、日時を指定しての記事の自動公開ができる予約投稿などが追加されている。Atom APIへの対応も表明しており、当分の間は進化を続けるだろう。

開発者で米シックス・アパートを設立したベン・トロットとミナ・トロットの夫妻。ミナがプレジデントを、ベンがCTOを務める。



そのほかの候補に挙がったプロダクト&サービス

- ・ Flash Maker 2
- ・ tDiary 2.0
- ・ Adobe Golive
- ・ Nucleus 3.1
- ・ Macromedia Dreamweaver
- ・ Macromedia Contribute



セキュリティ部門 Norton Internet Security 2004

シマンテック株式会社

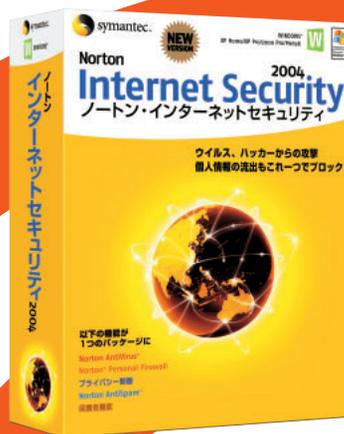
URL <http://www.symantec.co.jp/>

セキュリティ部門は、ブロードバンドが急速に普及し、重要度が高まる一方のセキュリティ関連のプロダクトやサービスを対象としたもの。今回は、PC向けのセキュリティソフトの老舗であるシマンテックのNorton Internet Security 2004を選出した。インターネット白書2004の調査でも、最も利用率の高いウイルス対策ソフトとパーソナルファイアーウォールとされており、代表的なセキュリティツールとしてユーザーに支持されている。

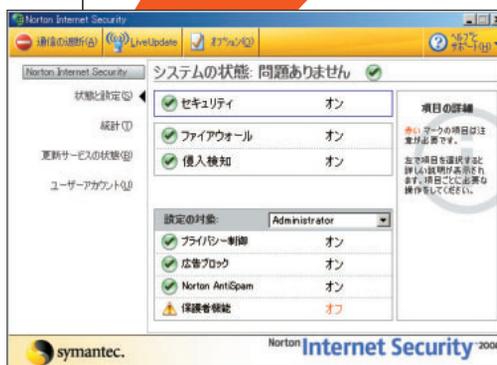
かつてパソコンのセキュリティ対策は、ウイルスへの備えとほぼ同義だったため、ウイルス対策ソフトさえ使用すれば問題はなかった。そのためシマンテックのセキュリティ関係ソフトもAntiVirusシリーズ単体での販売が主だった。しかし2000年以降になると、OSやアプリケーションのセキュリティホールを突いて感染するワームが増加してウイルス対策ソフトだけでは対処が難しくなったため、ファイアーウォールや侵入検知ツールなどと組み合わせる必要が出てきた。シマンテックは2000年からはAntiVirusとPersonal Firewallを組み合わせたNorton Internet Security 2001を発売し、それ以降はInternet Securityシリーズがセキュリティソフトの看板になっている。Internet Security 2004からは、スパム対策のために「AntiSpam」が追加された。

セキュリティ対策ソフトも、その時々インターネット環境に応じて機能や役割が追加され、現在では個人情報の保護も役割の1つになっている。また、ユーザー層に合わせて使い勝手も向上しており、高い機能と少ない手間の方向へと進化を続けている。

ウイルスだけでなくスパムメールや個人情報 の保護にも対応する、ブロードバンド時代の標準セキュリティツール



黄色でおなじみの Norton Internet Security 2004の製品パッケージ。



Norton Internet Security 2004のメイン画面。ここからすべての機能の状態や設定ができる。

そのほかの候補に挙げたプロダクト&サービス

- ・ウイルスバスター2004
- ・マカフィー・ウイルススキャン
- ・PestPatrol
- ・Spybot Search & Destroy
- ・GMOどこでもLAN
- ・ソフトイサー
- ・Zone Alarm
- ・HACKER SAFE



ネットワークデバイス部門

AVeL LinkPlayer

アイ・オー・データ機器

URL <http://www.iodata.jp/>

パソコンのデータを大画面テレビで楽しめるようにしたことで、パソコンとリビングの距離を縮めた製品



一見すると、パソコンの周辺機器ではなく、普通のDVDプレーヤーに見えるため、リビングに置いても違和感がないだろう。

背面も映像・音声系の出力端子が並んでいる。無線LANのアンテナとLANコネクタが、普通の家電製品ではないことを主張している。



そのほかの候補に挙がったプロダクト&サービス

- ・ AirMac Express
- ・ livedoor SIP フォン
- ・ KDDI CDMA 1X WIN
- ・ 京セラ AH-K3001V
- ・ アプリChat AV
- ・ おサイフケータイ
- ・ ソニー VAIo pocket

「ネットワークデバイス」部門は、ネットワークを構築するためのいわゆるネットワーク機器だけでなく、ネットワークに接続する機能を持ち、それによってユーザーに新しい何かを提供している製品を対象としたものだ。その中から今回はネットワーク経由でPCから動画や音声ファイルを読み込み、リビングの大画面テレビやオーディオ機器に出力できる、アイ・オー・データのAVeL LinkPlayerを選出した。

パソコンのマルチメディア化が進み、店頭で販売されるデスクトップPCのほとんどにTVチューナーが搭載されるようになって、いまだにリビングとパソコンの距離は感覚的にも物理的にも縮まっていないのが実体だ。せっかくパソコンでTV番組を録画したり、自分で撮影した映像を編集したりしても、それを普通の大画面テレビで楽しもうとするには複雑で面倒な作業が必要で、一般的なユーザーはパソコンの小さな画面で見るしかなかった。

その高い壁を取り払ったのが「ネットワークメディアプレーヤー」をうたうAVeL LinkPlayerだ。パソコンとLinkPlayerをLANでつなぐだけでTV番組を録画したムービーや、ダウンロード販売で購入した音楽ファイルなど、パソコンの中に保存されているマルチメディアファイルを読み出し、再生してテレビやAV機器に出力できるというものだ。

最新機種では801.11g規格の無線LAN接続が可能になったので、邪魔なLANケーブルにわずらわされることもなく、家中どこにでも自由な場所に設置できる。

パソコンを仕事やコミュニケーションの道具としてでなく、エンターテインメントの1つに数えられる環境が整ってきた。



ネットワークソフトウェア部門

Skype

スカイプ・テクノロジーズ

URL <http://www.skype.com/home.ja.html>

ネットワークソフトウェア部門とは、通信機能を有するソフトウェアが数多くあるなかで、ネットワーク機能こそが本質にかかわるようなソフトウェアを対象にしたものだ。今回、この部門で選出したのは、P2P技術を活用したIP電話ソフトSkype(スカイプ)だ。P2Pファイル交換ソフトKaZaAの開発者たちが、そのP2P技術を利用して開発したSkypeは、PC同士の通話は無料で利用できること、通話品質が高いことで高い評価を得ている。

ピアツーピア(P2P)は技術的に注目されながらも、なかなか商業的な成功にはいたらなかった。しかしSkypeこそが、その先鞭をつけるものになるかもしれない。Skypeは、オランダのスカイプ・テクノロジーズが提供するIP電話ソフトだ。パソコンにインストールするとパソコンに接続されたマイクとスピーカやヘッドセットを使って通話できるというものだ。注目される理由の1つがP2P技術を使っているという点で、管理サーバーを必要とせず、完全に分散型のネットワーク構成をとっている。通話品質も一定以上のブロードバンド環境ならば、携帯電話よりも音質は良いという。

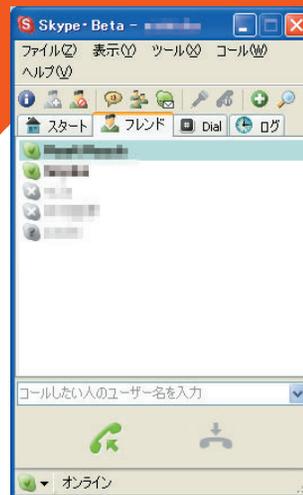
Skypeのソフトウェアは無料で公開されており、またSkypeによるPC同士の通話も無料だ。さらに、Skypeから一般の公衆回線網の電話と通話ができるSkypeoutというサービスも開始しており、日本国内なら1分当たり0.02ユーロ(約2.7円)、米国に掛けても1分当たり0.012ユーロ(約1.6円)と、格安の通話料だ。

Skypeのユーザーは、全世界ですでに700万人を超えており、IP電話サービスとしては最大級だ。ウェブにおける新しい通信手段として、着実に成長を続けている。

P2Pによる分散型ネットワークのIP電話サービスで、PC同士なら無料、普通電話に掛けても1分2.7円の低価格を実現



スカイプ・テクノロジーズのCEOであるニコラス・ヘンストロム氏。P2Pファイル交換ソフトKaZaAの開発者でもある。



Skypeのインターフェイス。インスタントメッセージと同じような構成になっており、わかりやすい。

そのほかの候補に挙げたプロダクト&サービス

- Mozilla
- Firefox
- Thunderbird
- Opera
- Safari
- Mapfan.net
- Winny
- Macromedia Robodemo



オンラインサービス部門 mixi

イー・マーキュリー株式会社
URL <http://mixi.jp/>

「日記」「足あと」などの機能がユーザーに好感を持たれ、国内最大のソーシャルネットワーキングサービスに成長

ログイン直後に表示される、個別のユーザーページ。マイミクシイ 友人リストに入っている友人が日記を書くとき「マイミクシイ最新日記」として表示される。



画像はインターネットマガジンのコミュニティのもの。ちなみに、設立したのは弊誌の筆者としておなじみの森田雄氏で、コミュニティには誰でも参加できる。



そのほかの候補に挙がったプロダクト&サービス

- ・GREE
- ・A9.com
- ・グーグルニュース
- ・アスクジープス
- ・ヤフー検索 (YST)
- ・ライブドア
- ・Gmail
- ・リネージュ2

オンラインサービス部門はネットワーク上で提供されるサービス全般を対象としたものだ。今回は日本発のソーシャルネットワーキングサービス (SNS) としては最大級の規模となる mixi (ミクシイ) を選出した。SNS は多くのオンラインサービスの中で今年最も成長したジャンルだが、mixi は独自の機能を次々と公開してユーザーの心をつかみ、サービス開始から半年で 10 万人のユーザーを獲得するなど急速に成長を遂げている。

SNS とは、自分のプロフィールを登録し、同じサービスに登録している知り合いを「友人」として設定することで、人のつながりを目に見えようにするサービスである。また、同じ趣味の人が集うコミュニティもあり、オンラインでのコミュニケーションをうながす面もある。今年 1 月に米国でスタートした Orkut が注目され、日本でも後を追って次々にサービスが始まった。「招待制」などのこれまでのコミュニティにはなかった要素が評価されて、ユーザーが増え続けている。

mixi は今年 3 月にスタートし、日記や「足あと」という自分のプロフィールを誰が見たかを確認できる機能など、これまでの SNS とは一味違った点が支持されて「mixi 中毒」とまで言われるほどのヘビーユーザーも生み出した。開始から半年後にはユーザー数が 10 万人を突破し、国内の SNS では最大規模と言われている。

SNS の運営会社の多くは、実際のところ今は利益を上げられていない。10 万人以上ものユーザーは、それだけで価値があるものだが、そこからどのように利益を生み出すのか、SNS の次の一手に注目が集まっている。



ブログ関連部門 Blog Pet こうさぎ

株式会社ワークアット

URL <http://cousagi.yomiusa.net/>

この1年でもっとも話題になったものの1つがブログだ。今回もすでにMovable Type 3.0をウェブクリエイション部門で選出したが、それとは別にブログに関係のあるサービスやプロダクトを対象としたブログ関連部門を、今年限定で特別に設置した。選出したのは、ブログのサイドバーなどに設置するブログペット「こうさぎ」だ。

こうさぎは、その名のとおりの子供のウサギをモチーフにした、人工無脳のマスコットだ。設置されたブログのRSSを自動的に読み込んで、そこから言葉を覚えていき、そのうちに覚えた言葉を適当に組み合わせちゃべり出したり、勝手にブログに記事を投稿したりするようになる。

サイドバーに棲み付いて勝手にしゃべるマスコット RSSやXML・RPCなどブログと関係の深い技術を利用

一見するとただのお遊びツールに見えるが、その裏にはブログならではの技術がふんだんに使われている。言葉を覚えるためにはRSSが必要で、サイドバーに表示するためにJavaScriptを使用し、ブログに投稿する際はXML-RPCというプロトコルを使用している。こうさぎ自体にはアクセス解析機能も備わっている。

見た目とは裏腹に高機能なこうさぎには、開発者たちが草の根から盛り上げてきたXML技術が詰まっているのだ。



一見すると、無意味なことをしゃべるかわいだけのマスコットだが、その裏ではさまざまな技術が駆使されている。現在はまだベータ版で「授乳期間中」だとのこと。



特別部門 Macromedia Flex

マクロメディア株式会社

URL <http://www.macromedia.com/jp/>

特別部門は、各部門の選には漏れたもの、あるいはジャンルとしてその枠に定まらないものの中でインターネットの発展に目覚ましい貢献をした製品やサービスを対象としている。今回はウェブアプリケーションのインターフェイスを静的なHTMLではなく、Flashアプリケーションとして構築するソリューションである、Macromedia Flexを選出した。

マクロメディアはウェブのインターフェイスをFlashで構築するリッチインターネットアプリケーション(RIA)を提唱している。ウェブの進化は早いインターフェイスの仕組みは依然として静的なHTMLや

ウェブアプリケーションの画面をHTMLからFlashに リッチインターネットアプリケーションを促進

XHTMLで記述されている。しかし、もともと文書作成のためのHTMLはアプリケーションの画面を設計するには向いていない。RIAという発想は、HTMLのウェブアプリケーションが抱える問題を解決し、さらにユーザーにとって使いやすいインターフェイスを提供する。

FlexはRIAのコンセプトはもとより、より使いやすいウェブアプリケーションの普及を促すだろう。

Macromedia Flexのしくみ



FlexはJ2EEや.NETのアプリケーションサーバーと連携するため、既存のアプリケーションを比較的容易にFlashのアプリケーションとして構築できる。インターフェイスはXMLベースのMXMLで記述する。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp